

きく組のこどもかいの劇への取り組み

幼稚園で子どもたちはいろいろな絵本に出会います。その中の1冊に『エルマーのぼうけん』があり、みんなのお気に入りの物語になりました。3学期、皆で劇をすることになり、話し合いの結果、『エルマーのぼうけん』に決まりました。それからは自分たちで言いたい台詞を決めたり、お面や衣装を作ったり、大道具を作ったりしました。友達の様子を互いに見合って「気持ちが伝わってくるね！」「かっこいいね！」と表現を認め合い、刺激を受け合ってきく組らしい『エルマーのぼうけん』を目指しました。



『エルマーのぼうけん』の物語を思い出しつつ、それぞれのキャラクターがどんな気持ちで喋ったり動いたりやりとりしたりしているのかを確かめながら、保育室で場面別に動いてみました。大好きな物語なのでエルマーと動物たちのやり取りの場面でのそれぞれの気持ちはよく分かっているのですが、いざ演じるとなるとちょっと恥ずかしそうな姿もありました。

大道具作りでは、大きな紙に仲間と一緒にローラーで着色したり、ジャングルの葉っぱや夜空の星をたくさん切り抜いたり、劇の最初の題字をカラフルな色紙で貼ったりしました。小道具作りは自分のお面や衣装を丁寧に作りました。お弁当後の食休みを兼ねて毎日進めていきました。



「こどもかい」当日どんな劇になるのか楽しみです。